志布志港ポートセールス推進協総会

航路開設活動を展開

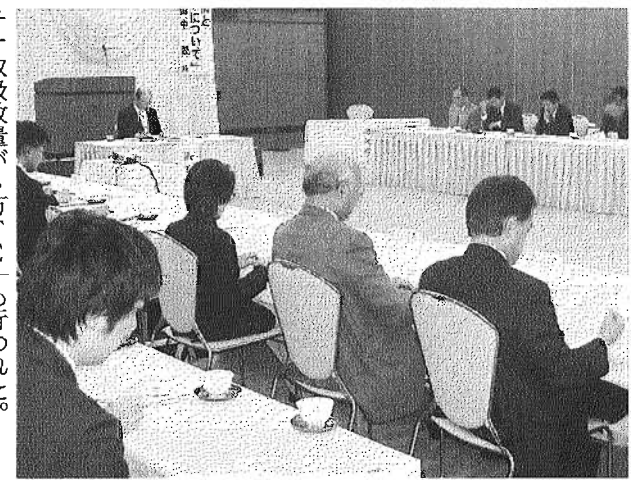
志布志港ポートセールス推進協議会（須賀龍郎会長）は11日、鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで16年度総会を開き、航路の開設及び拡充に関する事業などを柱とする新年度事業計画を決めた。

総会では冒頭、須賀会長が「国債物流拠点として、ハード面だけではなくこれからはソフト面でも整備の促進を図っていきたい」と挨拶。引き続き須賀会長を議長に選出して議案審議に移り、15年度事業報告・収支決算、16年度事業計画・予算案等を慎重に審議、事務局の原案通り可決承認した。

このうち、同協議会では新年度、プレゼンテーションや情報交換などポートセミナーを鹿児島市で開催や、年度内にコンテナ取扱数量が5万TEUに達することから達成記念セレモニーの開催などを計画している。

また、総会終了後は「最新の中国経済事情と九州の関わりについて」と題して、田中豊アジアネット代表による講演会も行われた。

新年度事業計画は、①国内外の船社及び港湾関係機関等に対して、志布志港を紹介し航路の開設や拡充等に対する理解を得るためのポートセールス活動の展開②貿易関係企業や荷主企業等に対して、志布志港の現状や今後の整備計画等の周知活動や利用促進活動③志布志港利用促進のための広報・情報収集活動ーなどを掲げている。



ポートセミナーの実施も決めた総会＝鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで

新年度事業計画について話し合う会員＝樋脇町のホテルグリーンヒルで

北薩造園業協会総会

石橋の技能伝承研修会

北薩造園業協会（田中高徳会長、会員10社）は7日、薩摩郡樋脇町のホテルグリーンヒルで16年度総会を開き、北薩広域公園内に「石橋」の築造や実技研修をかねた剪定作業の実施、造園技能士資格取得のための事前講習会の開催などを盛り込んだ事業計画を決めた。

協力で1年間無事に会の運営ができた。新年度も力を合わせて造園業の地位向上のために頑張っていきたい」と抱負を述べた。

8月、薩摩郡宮之城町にある北薩広域公園に長さ4㍍、幅1・5㍍のアーチ型石橋を築造。技能伝承の研修会を開くほか、造園業の振興のため、公園内で管理運営している修景緑地帯の花の植替え作業を年2回実施するなどを申し合わせ、25日に国道328号出水市武本交差点、宮之城町山崎北原口バス停そばの2カ所で奉仕活動をすることを決めた。

会員は次の通り。

㈲阿久根緑化センター　石走造園㈱　㈲えいしん緑化建設　㈲川内緑造園　瀬口造園㈲　㈲川内林業　㈲拓美庭苑　中越緑産㈱　南日緑化㈱　㈲村岡産業

吹上町建設互助会総会

三窪会長再選　後継育成と会の増強を

吹上町建設互助会（三窪球利会長）は10日、日置郡吹上町の互助会館で16年度通常総会を開き、海岸清掃及び道の日清掃などのボランティア活動の実施などを柱とした新年度事業計画を決めるとともに、任期満了に伴う役員改選では三窪会長（㈱三窪建設）を再選した。

冒頭、三窪会長が「16年度は町をはじめ県単事業の減少が見込まれるなど、依然として厳しい状況が予想されるが、会員同士が手を取り合いながら、新たな事業の創出に向けて英知を結集して頑張っていこう」と挨拶。

続いて、三窪会長を議長に選出して議事に入り、15年度収支決算報告並びに事業報告、16年度収支予算案と事業計画案を審議し、執行部の原案通り可決承認。また、任期満了に伴う役員改選では、三窪会長の続投を決めたほか、後継育成と会の増強を図ることを目的に、監事、理事の席を新たに各1人ずつ追加した。

16年度事業計画は、①海岸清掃ボランティア②道の日清掃・除雪作業③安全祈願祭・新年会ーなど。

新役員は次の通り。

組合長＝三窪球利▽会計＝山之内義信（㈲山之内工務店）▽監事＝宮之前明仁（㈱宮之前建設）谷口令（㈱つばめ機動建設）▽理事＝長野章（㈲長野組）池畑重幸（㈲池畑組）

ボランティアの実施も決めた総会＝吹上町の互助会館で

川薩電気工事工業協組青年部総会

関部長再選　新技術営業を展開

川薩電気工事工業協同組合青年部（関雄太部長）は7日、川内市の安藤で16年度総会を開き、高齢施などの事業計画を決めた。また役員改選では関部長（㈲関電気商会）を再選、4人の新副部長を決めた。

関部長は、挨拶の中で『薬をやめれば病気は治る』の本を紹介しながら、「具合が悪いから（業績が悪いから）とすぐに医者にかかり、薬を飲むのではなく、自分でその原因を探し出し、それに向かい合い、治癒していくこと。つまり先を見越した新しい技術営業を展開していくことが必要なのではないか。手を取り合うばかりでなく、お互い意見を出し合いながらお互いが伸びていきましょう」と呼び掛けた。

総会後は、松下電工㈱電材市場分社、三菱重工空調システム㈱南九州営業所、㈱鹿児島支店のメーカーを招いて新製品・新技術講習会を開いた。

懇親会では、親組合の堀ノ内重行理事長（㈲まるほ電気）が「青年部の活動には感謝する。これからも組合を支えて頑張ってほしい」と激励した。

新役員は次の通り。

部長＝関雄太▽副部長＝永留博文（㈲永留電気）宇都晴紀（都電設）久木野敦（㈲久電社）崎本政豪（崎本でんき）▽会計＝田原茂（㈲田原電設）▽監査＝湯田政志（㈲湯田電工）梅江田桃一（㈲梅江田電工）

お互いが競い合い伸びていきましょうと挨拶する関部長（右端）＝川内市の安藤で

奄美ＰＦＩ研究会総会

新代表に安田氏選任

安田愛宏新代表

奄美ＰＦＩ研究会（村上慎一郎代表）は10日、名瀬市の奄美観光ホテルで平田隆義名瀬市長を交えて16年度総会を開き、昨年度の事業報告や新年度の予算案及び事業計画等の説明を行った。任期満了に伴う役員改選では新代表に安田愛宏氏（㈱安田組）を選任した。

同会は14年8月に名瀬市内の中堅若手の土木・建築業者15人の会員で発足し、現在の正会員は24人、賛助会員12人。

冒頭、村上代表は「今後とも互いの認識を高め、自助努力を重ねて早期に事業を実現させたい。新役員になられる若手に期待したい」と挨拶。名瀬市長も「市中心商店街の再整備は不可欠。建築、土木両者が力を合わせてまちづくりに取り組んでもらいたい」と激励した。

セミナー等の実施も決めた総会＝名瀬市の奄美観光ホテルで

会では事務局を奄美建設業協会内に置くこと等の会則改定を説明、会計決算報告及び事業報告等に続き、16年度予算案及び事業計画について話し合った。新年度事業計画では①名瀬測候所跡地活用計画等のＰＦＩ事業に関する調査検討②学習会やセミナーなどＰＦＩ事業に関する学習活動③公民協働のまちづくりーの3本柱を中心に実施することを確認した。また任期満了に伴う役員改選では新代表に安田氏、副代表に松元利道氏（㈱松元組）、各理事等の新役員案を全員一致で承認した。

新役員は次の通り。

代表＝安田愛宏▽副代表＝松元利道▽理事＝竹山博昭（竹山建設㈱）前山信章（長浜建設㈱）川口和範（川口建設㈱）▽監事＝浜田幸之進（㈱浜田機動）政和豊（㈲政建設）▽事務局＝盛山京見（奄美建設業協会）